

事例 2

編み針とそれを固定する台の製作

1 相談内容

本人は右片麻痺のある女性です。片手でも編み物ができる一本針を使っていましたが、既製品よりも、もう少し長い針とそれを固定する台があれば、もっと編みやすくなるので製作してもらえないだろうかと依頼がありました。

2 利用者プロフィール

50代女性、脳梗塞による右片麻痺があり、身体障害者手帳2級、要介護2の方です。

本人は身の回りのことを左手で可能な限り、自分で行います。趣味の編み物をずっと続けておられます。

3 対応

本人から一本針は13号の太さで作ってほしいとのことから、直径6mmの透明アクリル棒を使って、両端を平ヤスリ等で丁寧に削り出します。

固定台はベニヤ板の上に短辺側中央へ木材ブロックを載せて裏からネジ止めし、そのブロックにローラーキャッチ2個を左右に並べてネジで固定します。なおローラーキャッチの大きさは、大中小の3種類あり、今回は中サイズを使用しました。



編み針の外観(上：製作品、下：既製品)



編んでいる様子

4 結果

麻痺側の右手で固定台を押さえ、左手でローラーキャッチに一本針をはさんだ後、毛糸を持って編んでいきます。本人の要望から既製品の一本針より長い針とその固定台を製作したことで、「今までは一本針だけだったので、編んでいくのに苦労しましたが、これら(長い針と固定台)で楽に作品を編めるようになりました。とてもうれしいです。」と大変喜んでいただくことができました。

5 予算

700円程度